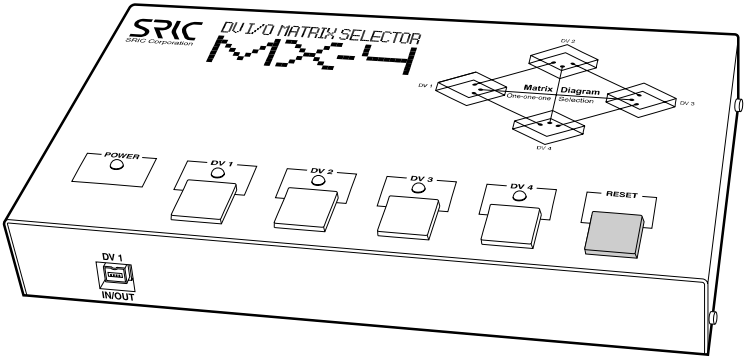
SRIC Corporation

DV I/O MATRIX SELECTOR

MX-4

取扱説明書

この度はDV I/O MATRIX SELECTOR を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この機器を正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上の注意」と
「使用上の注意」を良くお読みください。
また、本書は大切に保管してください。



本製品の特徴

MX‐4は、デジタルビデオカメラやデジタルビデオデッキ、DVDレコーダーなど、合計4台のDV（i.LINK）端子搭載機器を接続したままで、任意に1対1のマトリックス接続切換ができます。使用したいDV機器の選択を本体のDVセレクトボタンを押すだけで接続切換ができます。わずらわしかったDV（i.LINK）端子搭載機器間のDV（i.LINK）ケーブルの差し換えから解放されます。

パッケージの内容

DV I/O マトリックス・セレクター本体	1台
ACアダプター	1台
接続機器覚書シール	1枚
取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1枚
ユーザー登録カード	1枚

ご注意

■本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を固く禁止します。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容に付きましては、改良のため予告無く変更する事があります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成しましたが万一記載漏れや誤りなどご不明な点がありましたらお買い求めになった販売店または弊社サポートまでご連絡ください。

■本製品は日本国内のみでご使用される事を前提に設計、製造されておりますので日本国以外でのご使用を禁止します。

■本書に記載されているIEEE-1394とはIEEE（米国電気電子技術者協会）により制定された規格です。

■本書に記載されているマーク及びi.LINKの名称はソニー株式会社の商標です。

■本書では、TM、R、Cなどのマーク標記は記載しておりません。

■本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いませんのでご了承ください。

■本製品は本書で定めた使い方以外の使用を固く禁止します。

■本製品では接続する機器同士のデータ送受信が出来ない機種もありますのでご了承ください。

■本製品がお客様により不適当な使い方をしたり、本書に記載された内容に従わず取り扱いしたり、不当な改造、変更を勝手に行ったり、弊社以外の第三者により修理・変更した場合などで生じた障害等に関しては、一切の責任を負いませんのでご了承ください。

使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくためには、お使いになる前に必ずこの「安全上のご注意」の内容と本製品の「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

設置について

●直射日光のあたる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。

電源について

●接続する時は誤作動や機器の破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってください。

修理について

●保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、お買い求めの販売店もしくは弊社サポートまでお問い合わせください。

その他の注意について

●ケーブルの抜き差しはプラグを持って行ってください。
●お手入れについて通常は柔らかい布で乾拭きするか堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってください。

安全上のご注意

表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容を表しています。

図記号の例

	△は警告（注意を含む）を表しています。具体的な警告内容は△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意・警告・危険」を表しています。
	○は禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、○の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

⚠ 警　告

この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよくお読みください。

この機器を分解したり、改造したりしないでください。

次のような場所での使用や保存はしないでください。
・湿度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所・暖房機器の近く・発熱する機器の上など）
・水気の近く（風呂場・洗面台・濡れた床など）や湿度の高い場所
・ホコリの多い場所
・振動の多い場所

この機器に、金属類や液体、燃えやすいものなど異物を絶対に入れないでください。

この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

電源は、たこ足配線などの無理な配線をしないでください。特に電源タップの容量（ワット／アンペア）を越えるとコード発熱し火災の原因になります。

電源コードを無理に曲げたり電源コードの上に重い物を載せないでください。破損の原因になります。

異常な臭いがしたり、加熱、発煙した場合はただちに使用を中止し、お買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

⚠ 注　意

電源コードを機器本体に抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから外してください。

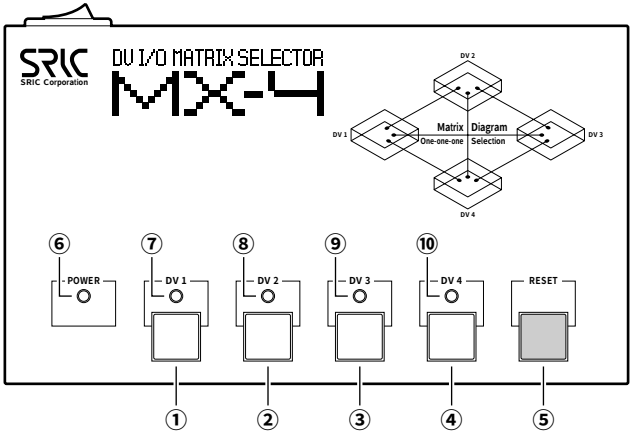
落雷の恐れのある時は、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

濡れた手でコードやプラグを持って機器本体に抜き差ししないでください。

接続したコードやケーブル類は繁雑にならないように配慮してください。特にコードやケーブル類は、お子様の手の届かないように配慮してください。

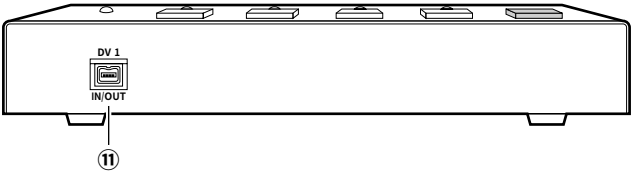
各部の説明

操作面



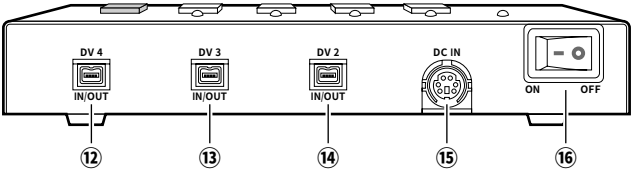
①DV1 セレクトボタン（黒色）
②DV2 セレクトボタン（黒色）
③DV3 セレクトボタン（黒色）
④DV4 セレクトボタン（黒色）
⑤リセットボタン（赤色）
⑥電源ランプ
⑦DV1 接続表示ランプ
⑧DV2 接続表示ランプ
⑨DV3 接続表示ランプ
⑩DV4 接続表示ランプ

前　面



⑪DV1 入出力端子

後　面

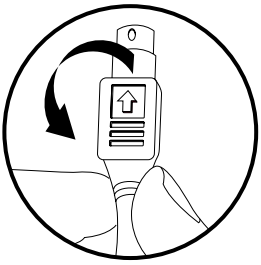


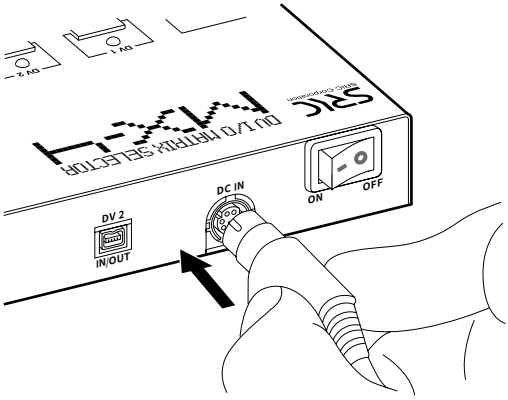
⑫DV4 入出力端子
（i.LINK：4ピン）
⑬DV3 入出力端子
（i.LINK：4ピン）
⑭DV2 入出力端子
（i.LINK：4ピン）
⑮DC 入力端子
（MINI‐DIN：6ピン）
⑯電源スイッチ

接続について

AC アダプターの接続

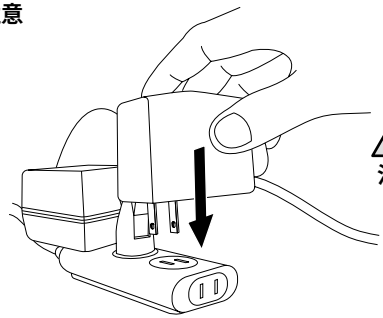
■本体の後面にある「DC IN」と表示のある端子にAC アダプターのコネクタ端子を挿入します。





注意

ACアダプターのコネクタ（MINI-DIN6ピン・オス）端子の矢印「→」のマークを下にして本体のDC INの（MINI-DIN6ピン・メス）端子に挿入してください。逆差しはコネクタを破損する原因になります。

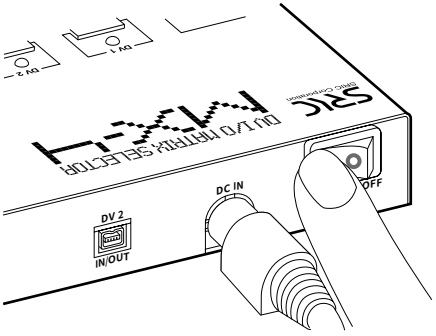


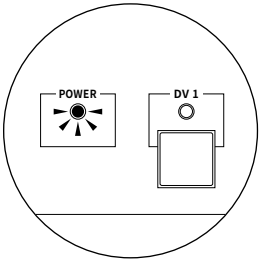
注意

必ずAC100Vをご使用ください。
入力電圧を間違えると機器が破損する原因になります。

電源の入れ方

■本体の後面にある電源スイッチを「ON」と表示している方向に押してください。

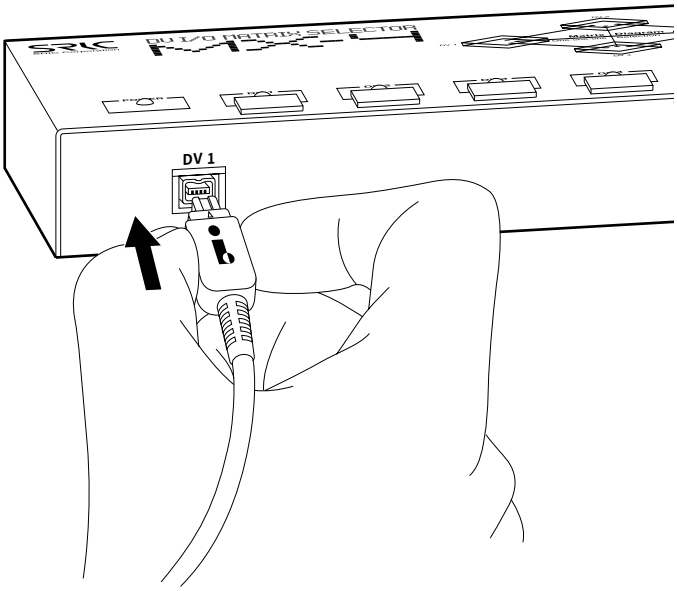




電源が入ると「POWER」と表示されている電源ランプが点灯します。

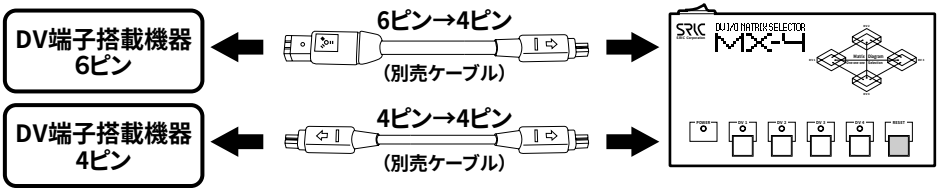
DV (i.LINK) ケーブルの接続

■本体の前面 (1ポート) 後面 (3ポート) にある (DV1 IN/OUTと表示のある) 端子に DVケーブルを挿入します。



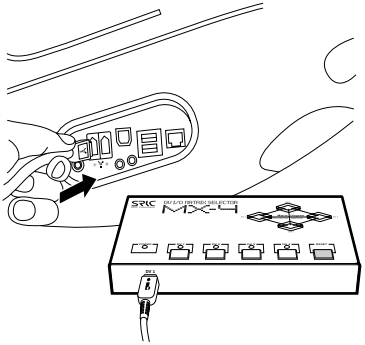
DV (i.LINK) ケーブルについて

■本製品で使用できるDVケーブルは4ピン→4ピンまたは6ピン→4ピンが使用できます。

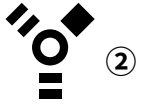


パソコンとの接続について

Appleコンピュータとの接続



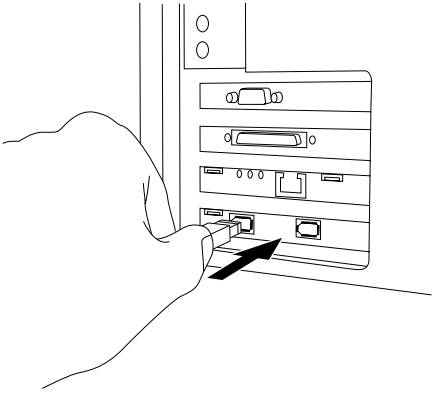
i-MacDV



このマーク「FireWire」①、②の何れかの端子へDVケーブルを挿入します。

※DV（i.LINK／6ピン－4ピン）ケーブルを使用する。

DOS/Vパソコンとの接続



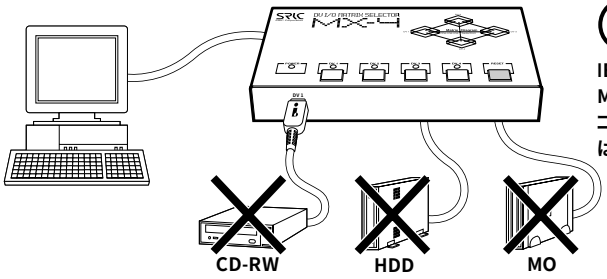
Windows マシン

1394

IEEE 1394端子（6ピン）へ DVケーブルを挿入します。

※DV（i.LINK／6ピン－4ピン）ケーブルを使用する。

接続禁止について



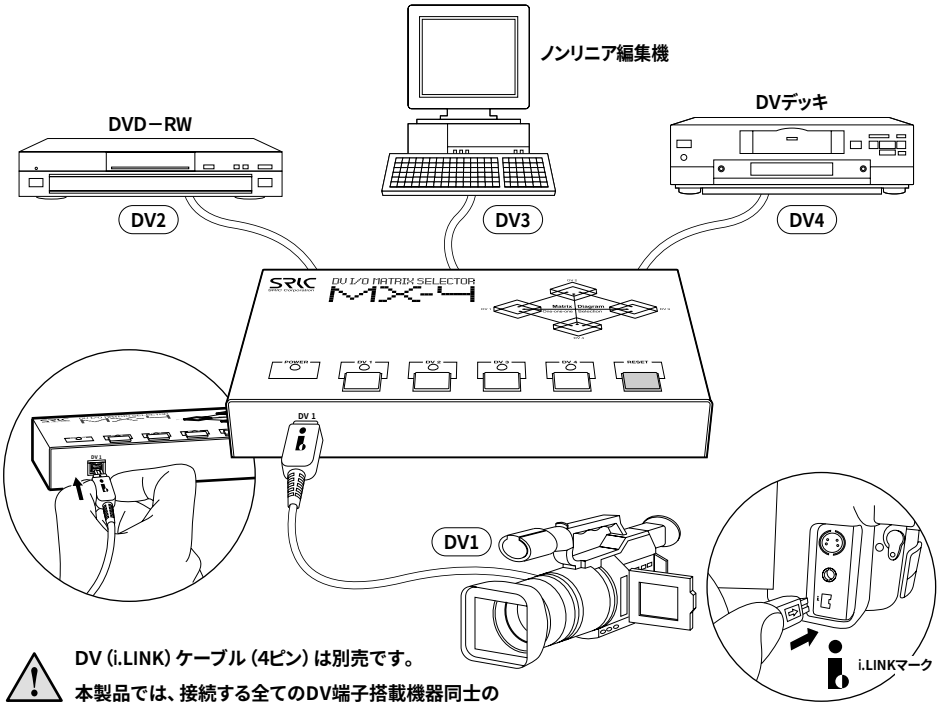
IEEE 1394ポートを搭載する MO、HDD、CD-R、DVD-Rなど コンピュータ周辺機器との接続 はできません。

注意

本製品はDV（i.LINK）端子搭載機器との接続切換を専用としたセレクターです。
IEEE 1394規格のS100、S200、S400といった高速転送速度には対応しません。

DV（i.LINK）端子搭載機機器との接続

■本製品は、DV（i.LINK）端子（4ピン）を前面に1ポート、後面に3ポートを搭載し合計4ポートのDV端子搭載機器の接続切換が可能です。

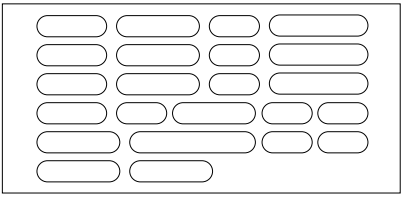


DV（i.LINK）ケーブル（4ピン）は別売です。

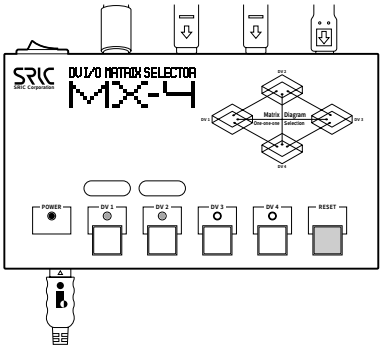
注意 **本製品では、接続する全てのDV端子搭載機器同士の接続を保証するものではありません。**

接続機器覚書きシールについて

■各ポートに接続されたDV端子搭載機器の名称を記入しセレクトスイッチの付近に貼付すると接続切換時の機器の確認に便利です。



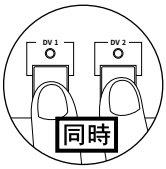
接続機器覚書シール



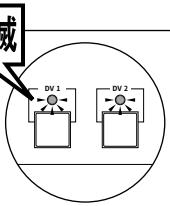
操作方法

■本製品のDV入出力端子DV1、DV2、DV3、DV4にDV端子搭載機器を接続します。

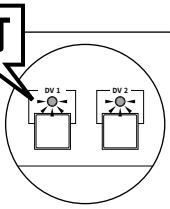
①DV1とDV2のセレクトボタンを同時に押します。



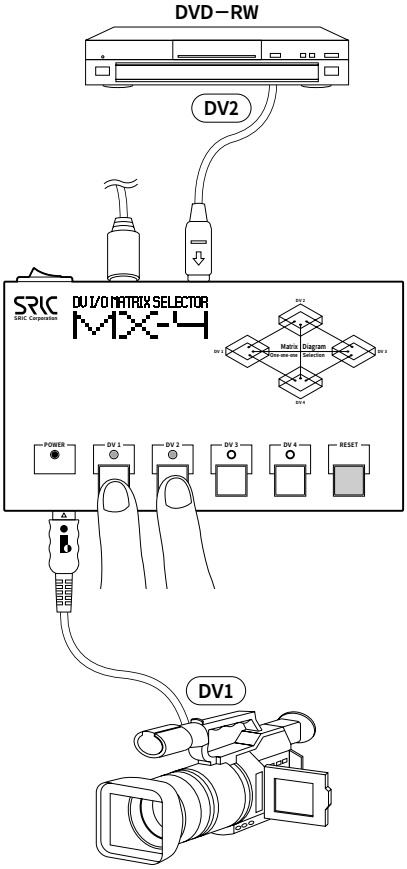
②セレクト表示ランプが2秒間点滅します。



③セレクト表示ランプの点滅が終わり点灯状態になります。



④DV1とDV2のDV機器が接続されます。



接続先の変更はDV機器の接続後でもセレクトボタンを押すことで接続変更が可能です。

注意

本製品では、接続する全てのDV端子搭載機器同士の接続を保証するものではありません。

本製品はDV端子搭載機器との接続は1対1の接続です。

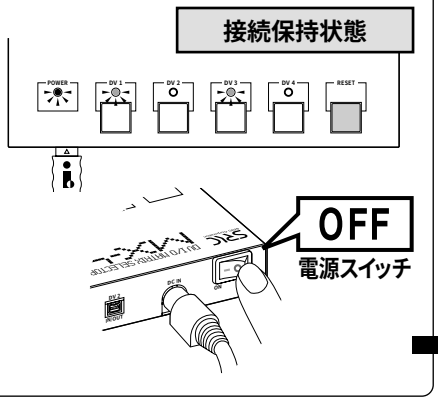
DV機器の接続中にセレクトボタンの変更をするとデータ通信が切断されます。

DV端子搭載機器間が接続されてもデータ通信が開始されるまで多少時間がかかります。機種によってデータ通信開始時間が異なります。

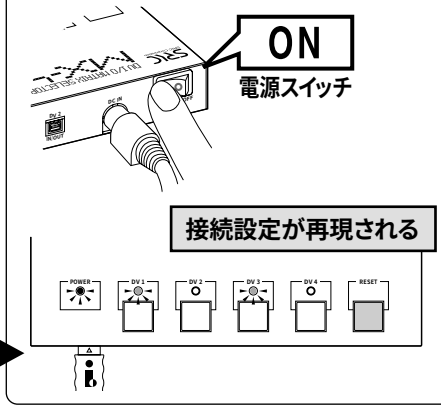
DVセレクト保持機能

■本製品はDVセレクトボタンを選択し接続したDV端子搭載機器間の接続状態を
電源スイッチを「OFF」にしても記憶しています。再び電源スイッチを「ON」にすると
DVセレクト保持機能が働き電源切断直前の接続設定を再現します。
例えば翌日の継続作業などに便利な機能です。

①電源スイッチを「OFF」にします。



②電源スイッチを「ON」にします。

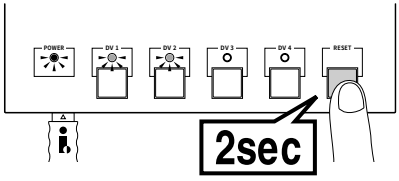


リセット方法

■本製品でDV端子搭載機器の接続を解除するにはリセットボタンを2秒以上押します。

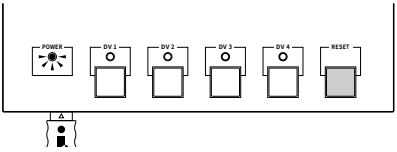
①リセットボタンを2秒以上押します。

DV1とDV2が接続中



②DV1とDV2のセレクト表示ランプが消えます。

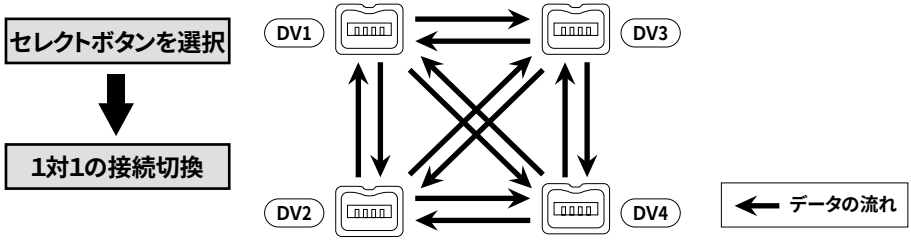
DV1とDV2が解除



③本製品に接続されたDV端子搭載機器の接続が解除されます。

マトリックス接続について

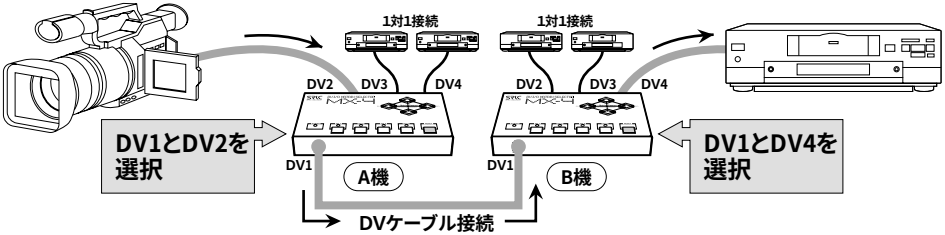
■本製品は、1対1のマトリックス接続切換が可能です。図のDV1、DV2、DV3、DV4に接続されたDV端子搭載機器を縦方向、横方向、斜方向の接続の切換ができます。



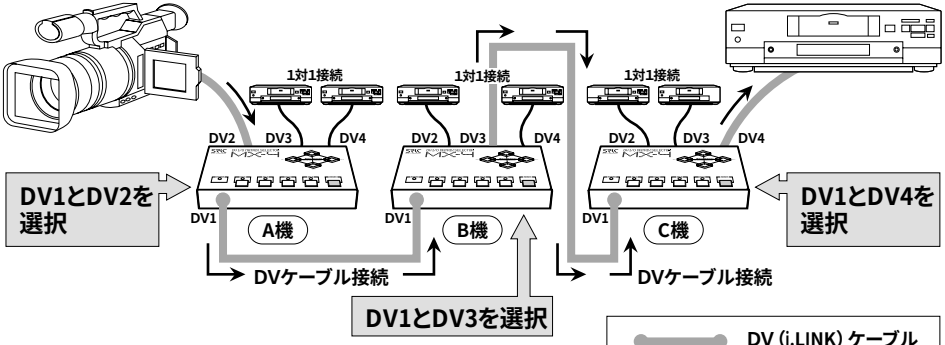
MX-4の増設例

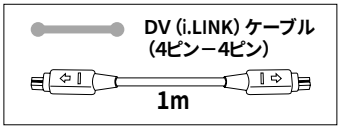
■本製品は増設が可能です。長さが1メートルのDV（i.LINK）ケーブルで本製品を最大3台まで増設が可能です。

A機、DV2（ビデオカメラ）とB機、DV4（ビデオデッキ）との接続例



A機、DV2（ビデオカメラ）とB機を経由、C機、DV4（ビデオデッキ）との接続例





注意

IEEE1394機器間のケーブル長は4.5mが最長です。
接続されたDVケーブルの長さの合計が4.5m以内であること。

本体仕様

ポート	DV入出力4ピン（i.LINK/IEEE1394-1995準拠）4系統
転送速度	3.6Mbps（DV信号のみ対応）
電源	DC5V/300mA（ACアダプター）
本体サイズ	（W）160mm×（D）88mm×（H）24mm
本体重量	約350g
使用温度範囲	5℃～40℃
使用湿度範囲	0%～80%RH（結露なき事）
ケース材質	SECC（鉄）
付属品	ACアダプター

製品の仕様および外観の一部は、都合により予告無く変更する場合があります。

故障かな!?とおもったら

■次の様な現象は故障で無い場合があります。修理にお出しになる前にもう1度お確かめください。

症状	確認	処理
電源が入らない	ACアダプターがはずれていませんか DC入力端子（MINI-DIN6ピン）がはずれていませんか 電源スイッチが「OFF」になっていませんか	確実にコンセントに差し込む 確実にDC INのコネクタに差し込む 電源スイッチを「ON」にする
DV機器が確認できない	DV機器の電源が入っていますか DVケーブルはつながっていますか セレクトスイッチが選択されていますか	DV機器の電源を入れる DVケーブルをつなぐ セレクトスイッチを押す
それでもDV機器が確認できない	接続されている全てのDV機器の電源を切る 本製品の電源を切る	接続する全てのDV機器の電源を入れる 本製品の電源を入れる

サポートセンターへのお問い合わせ

■サポートセンターへのお問い合わせは「ユーザー登録」をされた方に限ります。

お知らせいただく内容

1.お客様の住所、氏名、電話番号
2.ご使用の製品型名
3.ご使用環境（接続されている機器の型名）
4.現在の症状（こんな場合に、こんな現象になり、現在はこの様な状況に）を詳しくお伝えください。

サポートセンター
TEL.0263-27-7723
月曜日～金曜日　9：00～17：00まで（日曜、祝日、弊社休日は除く）

修理について

■製品の修理に関しては、以下の項目をご確認いただき、販売店もしくは弊社へご相談ください。

●お客様から修理品を弊社へ発送いただく場合には原則として、発送費用は、お客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

●修理品にはご使用の環境や現在の状況（お知らせいただく内容）を記載した用紙を添付してお送りください。

●保証期間中でも下記の内容の場合は有償修理になります。
1.保証書の提出が無い場合
2.保証書の所定の記入が未記入の場合
3.コネクタの逆挿入による故障や誤った使用方法、またはお買い上げ後の輸送、落下設置場所の移動等による破損での故障の場合
4.本製品を改造した場合

■修理品の送付先

〒399-0003
長野県松本市芳川野溝572-1
株式会社スリック
「MX-4」修理係　宛

メモ

株式会社スリック
〒399-0003 長野県松本市芳川野溝572-1
TEL.0263-28-7001 FAX.0263-28-7117
●ホームページ http://www.sricnet.co.jp/ ●E-mail:sric@sricnet.co.jp